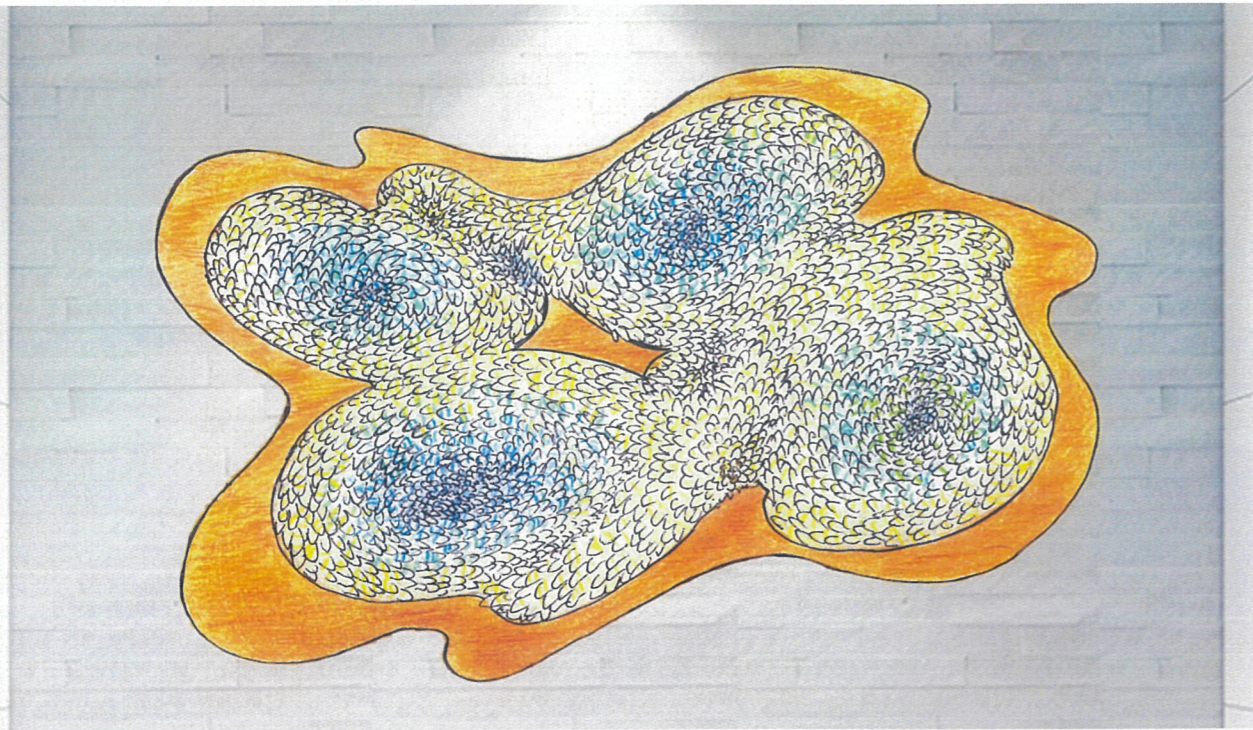


作品の設置方法を選んで、チェックをつけてください

台座置き 壁付

※台座置き作品は台座のサイズも分かるように記入すること
 ※台座のサイズは自由

作品 および 設置イメージ・説明・制作方法



【作品名:I-land】

この作品は島や山といった故郷をイメージして、隆起した部分を無数の突起で構成しています。突起は循環する流れの中で盛り上がり、次の高みへと繋がっていきます。この突起粒は色系でひとつずつ手で括り、黄色から緑色、青色へ色彩に変化を付けています。作品の頂点にはビーズを糸に通しながら括りつけることで華やかで豊かな感覚をもたらしてくれます。作品名のアイランドとは島のようなこの作品の形だけでなく、I=私を意味しています。自分が持っている個々のきらめきや大切にしたいこと、それぞれのオアシスが揺れ動いて巡るような楽園を表現しました。

【制作方法・テストピース】

作品は一枚の布から出来ています。糸を括るときにビーズを通すことで簡単に外れません。山の隆起は絞りの密度によってコントロールすることが可能なため、芯材を使用せずに形状を保持できます。絞り粒の先端の向きは、渦を描くように絞ることで連続した流れの動きを作り出します。作品をはめる木枠はサイズに合わせて加工し、磨くことで自然な艶を出します。



作品名	I-land	作品NO.	88
素材	ポリエステル布、ニット用ミシン糸、木枠	想定重量	50 kg
作品サイズ	横幅 1600 × 高さ 1200 × 奥行 600 (単位: mm)		

作品コンセプト

私は絞り染め技法を応用して立体的な作品を制作しています。この作品は染める前の形を造形として生かして、括った糸をも素材として扱っています。括っている糸を複数の色系に変えてグラデーションを作り、糸にビーズを通して華やかな世界を作りました。色系にすることで布を染めるより、柔らかな印象を与え、鑑賞者を包み込みます。作品は白い布に無数の絞りを施すことで、独特な立体感と陰影が出ます。

これは私が粒々の絞りを擬人化して作品を制作していることが背景にあります。伝統的な染織技法を学び、素材と技法に根ざした現代における新しい表現を挑戦しています。絞りを人に見立て擬人化し、「個と群衆」をテーマに抽象的な空間造形を通して現代社会に息づくエネルギーを作品に込めています。ここに住む人々が社会にいい循環のエネルギーを与え、そして影響を受けることで巡って広がっていく世界をイメージしています。

【過去の自分の作品】 ※画像や写真等を配置もしくは貼り付けてください



5年前に大学国際寮のエントランスホールに恒久展示した作品です。日光が当たる人通りの多い場所ですが、黄変や劣化もせず、今も留学生を楽しませています。堅牢度の高い布と糸、ひとつずつ糸を括る制作技法は提案作品と同じです。



駅やホテルエントランスなどの様々な環境の中で、鑑賞者との繋がりに注目して造形を深めてきました。制作を通して、展示に対する耐久性に検討を重ね、素材を難燃度の高いものを選び、公共空間での展示をクリアしていきました。